

安全性の数値比較



多機能還元水とnano+クリーナーを原料から計算し急性毒性数値をLD50(mg/kg)で比較した。(その他のものは一般的な製品と比較)

洗浄液	原液 LD50(mg/kg)	希釈倍率	希釈後 LD50(mg/kg)
アルカリ電解水	5,000	30倍	150,000
次亜塩素酸水30ppm	20	原液	20
消毒用アルコール	6,200	原液	6,200
汎用中性洗剤	5,000	100倍	500,000
トイレ用酸性洗剤	2,600	原液	2,600
床用アルカリ洗剤	2,000	50倍	100,000
多機能還元水	11,630	1,000倍	11,630,000
nano+ クリーナー	22,727	1,000倍	22,727,000
ビタミンC	12,000		

※LD50(半数致死量)とは、化学物質の急性毒性の数値で、実験動物集団に経口投与等により投与した場合に、統計学的に、ある日数のうちに半数(50%)を死亡させると推定される量(物質質量mg/kg体重)で示すことで、数値が大きいかほど毒性が低いことを示します。
上記希釈数値は希釈する水道水の数値は無視しています。

多機能還元水とnano+クリーナーの安全性は極端に高いことが分かります。